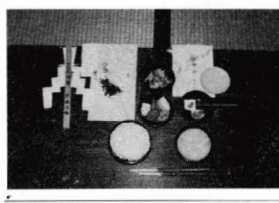


古式祭鎮火祭盛大に斎行

—八百余年の伝統、五穀豊穡を感謝して古式祭 防火を祈り鎮火祭—

去る、十二月十五日未明、当社が、江戸の奉仕者よつて神前に古式祭厳肅に斎行された。

古式祭は、昔から特別な供えが捧げられる。曙開の神楽口を採り、大豆と、大豆の漬を採取され、薄と、大豆と和せ、クマサと呼ばれる草



が、江戸の奉仕者よつて神前に供えられる。又、神前には、今年の新米始め、海川山野の産物供えられ、クマサを始め、形餅、ついで行われるのは、鎮火祭に人々は身を引き締め、参列する。

この後、清酒に於て一御座が開かれる。人々は新米の七座り、御膳の上は、焼に穿らるる新米、味噌、醤油、クマサも、粟の小等が並ぶ。

大祓式除夜祭斎行

新年を迎えるにあたり

昭和十七年大晦日の午後時であったことが知られる。平安朝本殿神前にて古祓式即ち「年男大祓式」が厳肅に以下、金殿祭仕の厳肅に斎行された。

この大祓式は都内外より氏子、崇敬者並に一般参拝者を多量に参列があった。又、全国各地の氏子崇敬の方々の身代として、一子宗家の方々の身代として斎行された約五万体的紅白の人身神前に供れ、二箇の諸々の罪穢が被り清められた。

大祓は、毎年六月二十三日の晦日に行われる儀式で、その年の前半と後半のうちに、知らず知らず犯した罪穢を被り清め、六月は「夏越の祓」、十二月は「師走の祓」といふ。

「神代巻」「古語拾遺」等に見られる。古代からの年中行事の一つ

「大祓式に引継本殿に於て除夜祭の斎行の中で厳肅に斎行された。

除夜祭は、この一年間の國家幸福、五穀豊穡、無病息災を神慮に感謝すると共に、新年を迎えるに頭を清め、万事万端準備が整ったことを告げる祭である。

かくしての一年間の当社の中興年中行事は、この除夜祭をもってすべてが終り、この一年の幕を閉じたのである。

◆◇◆

やがて数時間新しい年、昭和五十八年が始まるといふ。今上陛下の御慶、

「天地の神を祈る」

あまの

海の、とてびたた松を

とあります。新年も、世の中が平和で、良し年であること祈り致します。

ます、巖(上越)の白民白袴 上った時ひき水をかけて振

に身を包む奉仕者より、古式 注ぎ、次いで川を渡り、更に古式祭儀にちなみ御座を越すの上から赤土を渡り、鎮火が行われ、そして打ち込みの後、宗像長、消防団団長等の関係者より、神と共今年の新米を頂くという神人相酌のひとときである。

また、この御座も金で終した午前十一時頃の鎮火祭が斎行された。この祭は「ほしすめ祭」と称され延喜式祝詞の中、火神の降伏を、水神は、ひき、壺山神神は、川をもち、鎮火をまつてゝゝらるる。祝詞の上の、古式に斎行主が火口を取り、忌火をきて点火する。炎の

松尾神社祭

十二月十九日、午前十一時より座する松尾神社の御祭神が、市村当社境内に鎮座する松尾神社に於て、恒例の松尾神社祭が斎行され、伝承されるからである。

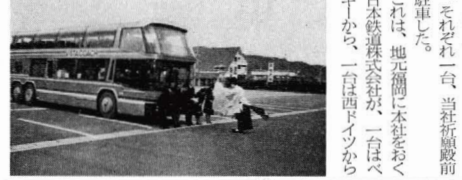
当日、宗像大社、北宮、南宮、宗像大社、松尾神社、御祭神が、市村の松尾神社に於て、恒例の松尾神社祭が斎行され、伝承されるからである。

宗像大社、松尾神社、御祭神が、市村の松尾神社に於て、恒例の松尾神社祭が斎行され、伝承されるからである。

二階バス九州に登場

— 当大社で交通安全祈願 —

年の瀬もまじった十二月二十三日、九州では、はじめての日二十五日、めすらしバス二階建てが、宗像大社の御祭神が、それだけ、台、当社新敷前



これは、地元の福岡に本社をおく四日本鉄道株式会社、一台は、ルンから、一台は西下から、

同バスは、普通観光バスと異なり、三階の客室、長十八メートル、幅二メートル、高さ二メートル、二階に五十人の乗客、下階に十四人の乗客を乗せられる。同社の多くの観光バスの中でも異彩を放つものである。

神職のお話を聞き、御神徳をいただいた駐車をあつた、九州にも、中国、四國方面の名所、旧跡に多くの観光客を乗せさせ、楽しませられることだ。

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

宗像大社責任役員会
宗像大社子総代会
宗像大社中両宮奉賛会

宗像大社責任役員会	監事	黒石 雅賢
代表役員	兼津 嘉之	吉田 寿夫
責任役員	出光 昭介	脇野 十郎
	吉本 弘次	幹事長 石橋 清寿
	倉田 興人	幹事 高向 正秀
	河野 幸人	高向 正秀
	山本 三吾	渡辺 秀丸
	占部 真太郎	宗像大社中両宮奉賛会
	小畑 初雄	会長 河野 幸人
	宇都宮 祥	副会長 沖西 彰
宗像大社子総代会	副会長	佐藤 鶴吉
副会長	河野 幸人	遠藤 久一郎
	小畑 初雄	原 藤雄
	永島 正助	

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

宗像大社宮司 兼津 嘉之
外職員一同

謹賀新年

歌会会員各位の御多幸を祈念
申し上げます
昭和五十八年元旦

宗像大社 宮司 兼津 嘉之
宗像大社社務会 山本 三吾

賀正

宗像大社責任役員の御清栄を遠
かに祈り申し上げます
昭和五十八年元旦

宗像大社 責任役員 兼津 嘉之

昭和五十八年 1983

交通安全宗像大社の 御神徳をたたえ奉りて

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

<p>福岡日産自動車株式会社 取締役社長 石 金 博 隆 福岡市博多区千代1丁目21番37号 電話 (0)41-3161</p> <p>福岡日産モーター株式会社 代表取締役 小 山 静 也 福岡市博多区東比恵2丁目14-33 電話 (0)41-2323</p> <p>日産プリンス福岡販売株式会社 代表取締役 永 田 干 秋 福岡市中央区平尾3丁目5-3 電話 (0)531-9561</p>	<p>—今年も安全運転を心掛けて下さい—</p>	<p>日産サニー福岡販売株式会社 代表取締役社長 小 田 切 忠 夫 福岡市博多区半道橋1丁目9番10号 電話 (0)41-4132</p> <p>日産ディーゼル福岡販売株式会社 取締役社長 中 尾 一 郎 福岡市博多区榎田1丁目4番3 電話 (0)41-1831</p> <p>日産チェリー福岡販売株式会社 代表取締役 小 西 正 彦 福岡市博多区半道橋1丁目10番10号 電話 (0)41-1123</p>
---	--------------------------	--

宗像大社養父祢宜夫人一峰子さん

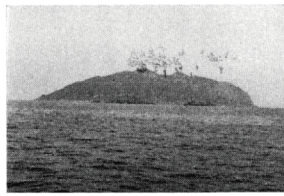
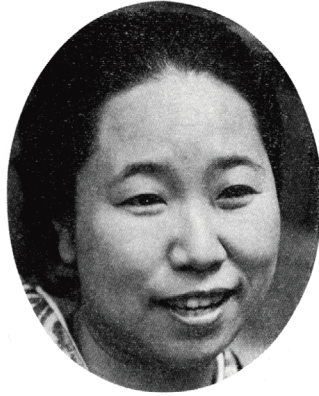
宮中歌会始の儀に入選

新春十四日皇居で披露さる

島守りに

出でたる夫が帰るべき

夕べやすく波止に潮満つ



新春恒例の皇家の伝統行事「歌会始の儀」が、正月十四日早前十時...

来る去る、波澄やかな夕べの波止... 河野明子さん一島出身

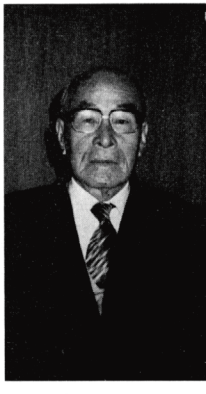


帰国記念リサイクル開かる

新春の一月五日午後、河野明子さんのソング、リサイタルが...

宗像大社氏子会長 責任役員 中村清之氏の逝去を悼む

一享年八十三歳



宗像大社の氏子会長で責任役員の中村清之氏が、十二月三十一日逝去されました。

おわかれのことば... 別れ言葉を申し上げます。

おわかれのことば... 別れ言葉を申し上げます。

其後昭和五十四年四月には宗像大社氏子会長として推挙され、爾来日没、神部宗像の氏子会長として、日夜氏の教育徳の為に御活躍になられました。

追悼のことば... 宗像大社宮司 華津嘉之 願殿に接する中村清之氏

奉納もちつき大会 行なわる... 十二月十日、奉納もちつき大会が行なわれた。

交通安全宗像大社の御神徳をたたえ奉りて 謹んで新年の御祝詞を申し上げます. Advertisement for various companies including Hino, Matsuda, Daihatsu, Isuzu, and Mitsubishi.

宗像大社歌会

第二五八回 宗像大社歌会詠草

毎月一日、切詠草到着順

俳句作品集(三三)
八幡西 磯谷 緑南
久留米 入江 柳江
いづれ見ゆす川郷冬景色
八幡西 磯谷 緑南
対話なきいづくの遠かな
福岡 二宮 末子
床柱難の勝に主なし
名古屋 野崎 博三
寒椿鳴る如府門口
田熊 安部 ゆき
過ぎし日を胸にためた懐き
福岡 広渡一寿軒
若成の賀状も懐き
田熊 九丸 一郎
年越しや集い見塚影明み
王丸 小方 正人
寒夜かな男仔けり飯炊く
福岡中央丸ゆする
一日一刻惜しむ春
藤沢 玄洋子
一屏の畑に鐘打冬日和
鐘崎 岩瀬 辰夫
一葉の書添へ婦年賀状

御蔵番日記
正月一日
あたまの年立ち
かへり
したり
待たぬ
ものほう
むのほう
くすのほう
声(業)
(性法師)
さまさま
二月祭典案内
中津宮
一日 月次祭 午前十一時
三日 節分祭 午前十一時
五日 月次祭 午前十一時
七日 節分祭 午前十一時
十日 月次祭 午前十一時
十一日 節分祭 午前十一時
十三日 月次祭 午前十一時
十五日 月次祭 午前十一時
沖津宮
一日 月次祭
三日 節分祭
五日 月次祭
七日 節分祭
十日 月次祭
十一日 節分祭
十五日 月次祭

御蔵番日記(續)
二月一日、神楽舞、日向の節干穂を出されて大和の船原宮に参詣を定められ初代の天皇にして即位された日、建國をのび日本の誕生を祝う日です。当社でも例年、同日には建國祭を厳格に行われております。
二月十一日、神楽舞、日向の節干穂を出されて大和の船原宮に参詣を定められ初代の天皇にして即位された日、建國をのび日本の誕生を祝う日です。当社でも例年、同日には建國祭を厳格に行われております。

賀正
松尚開発株式会社
福岡国際カントリークラブ
池と赤松の三十六ホール
福岡県宗像市大字朝町
電話〇九四〇三三四四四

節分祭ご案内
新参を迎え、豊祭を、御清の設備を存じます。
因、当社節分の節分祭を左の如く行ないますので御参拝下さいませ。御案内申し上げます。
昭和三十八年二月一日
宗像大社社務所

賀正
玄界灘の景観を一望出来る
シーサイドの名門一流コース
西日本開発株式会社
玄海ゴルフクラブ
福岡県宗像郡玄海町
電話〇九四〇六二二三三

賀正
玄界灘の景観を一望出来る
シーサイドの名門一流コース
西日本開発株式会社
玄海ゴルフクラブ
福岡県宗像郡玄海町
電話〇九四〇六二二三三

新年おめでとうございます
〇玄海国定公園の中心...風光明媚...生魚料理...宗像大社からバス五分...神湊旅館組合
あけぼの荘 電話玄海〇二二六六番
魚屋旅館 電話玄海〇二二二二番
みなと荘 電話玄海〇二二五五番
玄海旅館 電話玄海〇二二〇〇番
高嘉旅館 電話玄海〇二二二二番
千成旅館 電話玄海〇三〇三〇番
望波亭 電話玄海〇一八一一番
千鳥荘 電話玄海〇〇六八八番
大島屋旅館 電話玄海〇〇五五五番
喜楽旅館 電話玄海〇〇三三三番
松風荘 電話玄海〇〇二二二番
友楽旅館 電話玄海〇〇二二二番
泉館旅館 電話玄海〇〇三三三番
玄洋荘 電話玄海〇二二二二番
川口屋旅館 電話玄海〇〇四四八番
勝浦荘 電話玄海〇二四七一番
はま荘 電話玄海〇二五〇〇番
松鶴旅館 電話玄海〇二九五五番